



ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

国土交通大臣認定

認定番号	区 分
NM-8585	不 燃 材 料
QM-9816	準不燃材料
RM-9364	難 燃 材 料

塗料塗装
(一社)日本塗料工業会

低臭アクリル樹脂系非水分散形塗料(つや消し)

EVER ROCK[®] NEXT エーロックネクスト



ロックペイント株式会社

エバーロックネクストは、強力なヤニ・シミ止め性が求められるところに適しており、塗装中、塗装後に発生する臭気を大幅に低減させた速乾性のあるカチオン型塗料です。

特長

1. 低臭性

塗料中の溶剤は低臭タイプの採用により、塗装作業中や塗装後の臭気を大幅に和らげます。(※希釈は塗料用シンナーでもご使用できますが、従来型の臭気となります。)

2. 強力なヤニ・シミ止め効果

旧塗膜に付いたタバコのヤニや水性のシミを抑える効果が強力です。

3. すぐれた付着性

カチオン型樹脂を使用しているため、塗り替え時はシーラーなしで塗装できます。(※新設時や吸い込みの著しい素材、脆弱な下地の場合は、シーラーが必要な場合があります。)

4. 防藻・防かび性

防藻・防かび剤の配合により、湿度の高い場所でもカビや藻類の発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。

5. 作業性・乾燥性

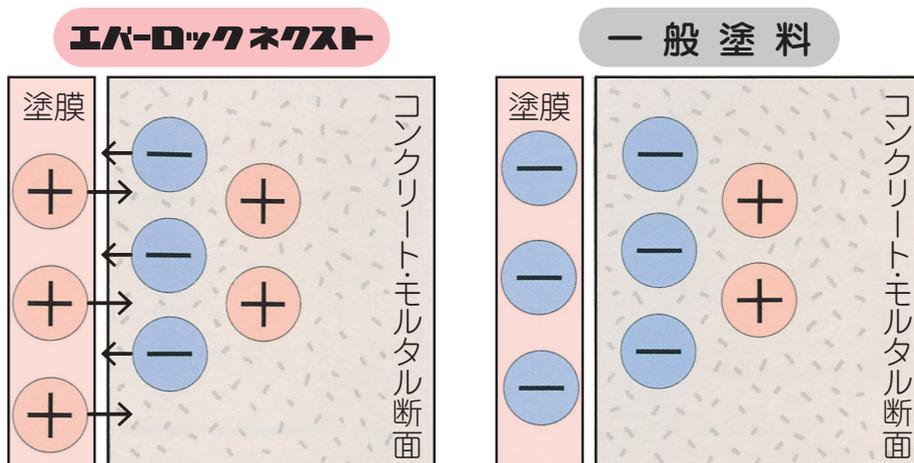
造膜性にすぐれているため、冬場の低温時でも塗装しやすく、乾燥性もすぐれています。

6. 防火材料

国土交通大臣認定 (NM-8585不燃材料、QM-9816準不燃材料、RM-9364難燃材料) の塗料です。

付着性のメカニズム~カチオン型樹脂~

エバーロックネクストの樹脂中の⊕電気が素地の⊖電気と引き合うため強力な付着力を示します。

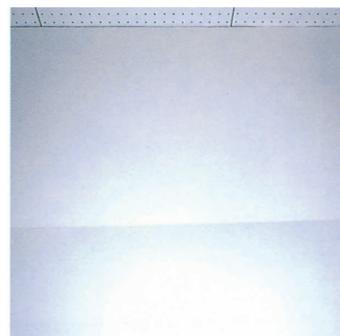


ヤニ・シミ止め効果

エバーロックネクストは弱溶剤タイプのカチオン型樹脂を使用しているため、水性の「ヤニ」、「シミ」はシーラーを使用しなくてもとめることができます。



▶ 塗装前



▶ 塗装後1ヶ月

用途

戸建住宅、集合住宅など屋内外壁面、軒天の塗装、各種塗り替え用塗装

適応素地 コンクリート、モルタル、PC板、ブロック、スレート板、せっこうボード、屋内木部など

適応旧塗膜 SOP、EP、FE、吹付タイル、リシン、スタッコなど

品種と容量

品番	品名	容量
092-5206	エバーロック ネクスト ホワイト	16kg
092-5209	エバーロック ネクスト オフホワイト(N-90) ¹⁾	16kg
092-5024	エバーロック ネクスト ファインエロー	4kg
092-5040	エバーロック ネクスト シンクレッド	4kg
092-5080	エバーロック ネクスト ロイヤルブルー	4kg
092-5225	エバーロック ネクスト オキサイドレッド	16kg, 4kg
092-5233	エバーロック ネクスト オーカー	16kg, 4kg
092-5234	エバーロック ネクスト ブラック	16kg, 4kg
012-5092	エバーロック ネクスト シンナー ²⁾	3.5L, 16L

光沢：つや消し

指定色：淡彩色～濃彩色 16kg

標準塗り面積：120～145㎡/16kg

消防法表示：指定可燃物（シンナーは第二石油類）

有機溶剤表示：第3種有機溶剤等

1) 色彩は日塗工 塗料用標準色 N-90です。

2) 上記専用シンナーを指定します。また、塗装時、塗装後に臭気は発生しますが、塗料用シンナーもご使用いただけます。



性能 (白および淡彩 JIS K 5670に準拠)

試験項目	規格	試験結果
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗り及びローラーブラシ塗りに支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
乾燥時間(半硬化乾燥)	5時間以内(23℃)	合格
隠ぺい率	90%以上	合格
耐水性	96時間の試験で水に浸しても異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	72時間の試験で水酸化カルシウム飽和溶液に浸しても異常がないものとする。	合格
促進耐候性(キセノンランプ)	250時間の照射時間で塗膜に割れ、はがれ、膨れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて小さく、白亜化の等級が1以下とする。	合格

標準塗装仕様 [コンクリート、モルタル面]

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準使用量 (kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	新設のコンクリート、モルタル面は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分乾燥させ、エフロッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどを完全に除去する。塗り替えの場合、旧塗膜の浮き、はがれ、汚れ、カビ、チョーキングなどは、皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で除去し、乾いた清浄な面とする。 吸い込みの著しい素地や脆弱な素地の場合、ロックカチオンシーラーマルチシリーズで素地固めを行う。					
下塗り	092ライン エバーロック ネクスト 指定色	エバーロック ネクスト シンナー	ハケ・ローラー : 0～15% エアレス : 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上
上塗り	092ライン エバーロック ネクスト 指定色	エバーロック ネクスト シンナー	ハケ・ローラー : 0～15% エアレス : 10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上

※仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮にいれた数値です。素地の状態、天候、塗装方法などによって異なる場合があります。

※軒天がリシン仕上げなどの場合は塗装時のロスが大きく、塗料使用量は上記標準使用量の約20～50%増しを目安となりますので、ご注意ください。

※各種建築用シーラーとの適性については、最寄りの営業所へお問い合わせください。

施工上の注意事項

- 使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となる事があります。(例えば一度に所定以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また塗分量が少ない場合や希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となることがあります。)
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- 付着性の悪い素地への塗装は避けてください。
- 防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および051ライン防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをお奨めします。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。また、プライマーで処理しても、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗装する場合は、ロックカチオンシーラーマルチⅢまたはホワイトを使用しあらかじめ下塗りをしておいてください。塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合や、素地が強アルカリ性が予想される場合は、ロックカチオンシーラーマルチⅢまたはホワイトを使用してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- エマルジョンパテの外部や浴室での使用は避けてください。
- せっこうボードなどに軽度の素穴や段差、ひび割れがある場合は、合成樹脂エマルジョンパテで処理してください。
- 木部塗装で釘頭には、あらかじめサビカットⅡなどを塗装してください。釘頭が錆びている場合はペーパーを用いてさびを除去してからサビカットⅡなどを塗装してください。
- スプレーノズルの先端は作業効率の低下および塗りムラを防止するため、定期的に洗浄してください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、あらかじめペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 旧塗膜がツヤ有り仕上げの場合、条件により適正がない場合がありますので、あらかじめ試し塗りをしてから施工してください。また弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗分量は塗装時の口を考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により多少色相が異なることありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 飛散防止のため、必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 屋外木部の塗装は避けてください。剥離やクラックが発生する場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 繊維質の壁や耐火被覆されているような表面が脆弱した被塗物には塗装できません。
- ヤニの付着が著しく汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから施工してください。
- ヤニ面に塗装する場合は希釈を少なめに1回目を塗装し、十分な乾燥時間(23℃で約6時間)をとってから2回目を塗装してください。
- 水性のしみやアク面は止まりにくい場合がありますので、水拭きを行い、十分乾燥させた上で塗装してください。
- シーラー塗装した場合、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こす場合がありますので、塗り重ね時間を守ってください。
- シーラー塗装した場合、乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 色相により、水滴などがかかると濡れ色になることがあります。乾燥すると元に戻ります。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際は、十分に換気を行ってください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。また、水のかかる場所は塗装後24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。(常時水のかかる場所には塗装できません。)溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗膜が完全に乾燥する前に、降雨、結露等がありますと、白化やしみが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やしみになる場合があります。
- 仕様書は全ての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかった場合F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜をウエス等で強く擦ると色落ちしたり、色が付着する場合がありますので注意してください。そのような部位への塗装はなるべく避けてください。
- エバーロック ネットの調色は専用の原色またはロックトーンカラント3000(ベースの5%以内)を使用し、てください。
- エバーロック ネットに使用した塗装用品の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- エバーロック ネットでは同じ塗装面で一部アクセントカラー等異なる色彩を塗り重ねる場合、塗り重ね部分がブリードにより変色することがありますのでご注意ください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。
- 製品の一部引火性の危険物及び健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、塗料容器の注意書き及び安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取扱は引火源のないところで、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

【施工後の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11-201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業所 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000-34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡宇高町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店

2020.10.3000S [092-K04]